



奈良町にぎわい通信

Vol.10

二〇一六・二月号

発行
奈良町
にぎわいの家





にぎわい歩き～上街道の見どころを聞きながら、帯解まで楽しく歩きました。

* 1859年に焼失した五重塔跡で(元興寺)



七草粥体験。ほんのりお味噌味。

かまどのご飯、ぬくぬくです。



町家を作る「土」の魅力と技の奥深さ！



町家講座は、「町家の技術・左官の技」と題して、宮奥淳司さんがお話を。



かまどに集い火の温もりを共に。「あったかい！」



おぜんざい、どうぞ。

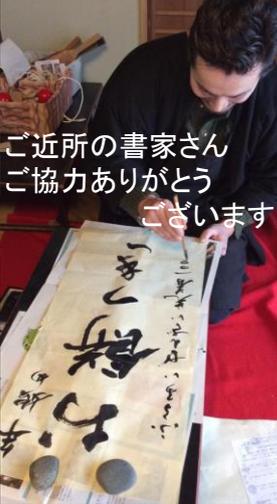


新年企画「お餅つき。大勢の方が並びました！

奈良町にぎわいの家 1月のイベントから



蔵の連凧展示、小学生たち、へええ！



ご近所の書家さんご協力ありがとうございます。ごさいます。



ことわざカルタに盛り上がる！



男子(おのこ)はコマに夢中なんです。



少年たちも中々の腕！



昔に戻ったかのように！素敵なお嬢さんたち。

にぎわい歩きく奈良七口から帯解へ

1月23日(土)の「にぎわい歩き」では、奈良町にぎわいの家からJR帯解駅まで約5キロを歩きました。かつて奈良町の出入口は7つあったと言います。京都、大阪、郡山・龍田へ、田原本へ、東山中や針へ、柳生へ、そして今回の肘塚町から南に向かう帯解(肘塚)口。それぞれの口を出ると、目指す地域へはほぼ1本道です。これらの道をたどることで、奈良町が近郊の都市や町村、寺社信仰とつながり、より豊かな町を形成していたことを追体験していただくという企画です。

さて今回の道は、古代から近代まで歴史を紡いできた上街道。最近でこそ長谷や伊勢へ行く道として有名ですが、ここが奈良として日本の重要路であったことを知る人は少なく、あらかじめ館内で古地図や写真レクチャーし、かつての繁栄をイメージしてもらってからの出発となりました。

注目ポイントは中辻町の紀州屋敷藩屋敷跡、弘法大師のくぬぎの杖伝説の桐(くぬぎ)神社、大坂の旦那衆が建てた伊勢参り記念おかげ燈籠、大和豪農の雰囲気を感じる清水永井、小野小町が抱瘡治癒した青井神社、帯解寺の小町宮、藤堂藩の門が移築された龍象寺など。一見なんの変哲もない道なのに、話題に出るのが聖徳太子、清少納言、柳生十兵衛、天誅組など各時代の有名なばかりで、参加者も驚かれたようです。

ところで私、伊勢はもちろん、京都・大阪、高野山、果ては北スベイン巡礼道も歩いた街道ウォーカーです(笑)。次回も楽しいにぎわい歩きにしますのでご期待下さいね。

案内担当：事務局 堀内紀子



* 奈良県里程元標の元はここ！

* 肘塚町の桐神社



* 立花町のおかげ燈籠(1830)



* 帯解寺の小町の宮

奈良町にぎわいの家では、二十四節気オリジナルスタンプと節気ごとの歌で皆様をお迎えます。

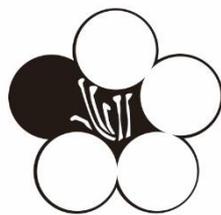
短歌...喜寿隆子(歌人・ヤママユ編集委員) / 書...逢香(奈良教育大学)

岩田茉莉江さん(音風景研究家)による展示は、小さなたんすの中に、音の記憶や体験を、しまい込んだ、楽しい企画です。奈良におすまいの方から実際に聞き取った昔の懐かしい記憶や声を、岩田さんならではの感性で「たんす」にいれました。ぜひ、皆さんも、この小さな引き出しに、会いに来てください。

福豆を昨夜撒いた玄関口に、朝の光がさす立春の朝。まだまだ寒い、立春の朝の光は、春の温かさを連れてきてくれる。また立春は、新しい年の始まりでもあり、「春立つ朝」には、新年のりんとした決意も感じられます。節気感覚、行事、自然と寄り添う気持ち。さわやかなお歌です。

福豆のゆふべ撒かれし門口にひかり及べり春立つ朝
ま かどぐち あした

奈良町にぎわいの家
二十四節気
オリジナルマーク「立春」
デザイン：金田あおい



つし二階・アート企画 第三弾！

たんすのなかにいれたもの」開催中！

たんすのなかにいれたもの
2016/2/5(金) - 2016/3/27(日)
岩田茉莉江 Marie Iwata
- Things placed in chests of drawers -
奈良町にぎわいの家 つし二階アート展
主催：奈良町にぎわいの家 コーディネート：奈良アートフロム

暮らし文化の交流を

事務局長 藤野正文

立春、旧暦では新年、まだまだ寒さが続きますが日差しには春の匂いが感じられる頃、多くの方々の来訪誠にありがとうございます。

奈良町にぎわいの家には、海外からのたくさんの方がこられます。(2015年夏の統計では約3割)

日本・奈良の風土の中でつくられた町家、季節にあわせ自然を楽しみながらくらししてきた日本人の庶民の生活。床の間を中心として花をめで、書や絵画を楽しんできたくらし。時間をみつけて非日常的な空間でお茶を楽しみ、商売にがんばるけれど芸事にも精を出す。縁側で庭を楽しみ、仏に手を合わせ、折々に親戚・知り合いが集う。

にぎわいの家は、けっして町家を「冷凍保存したハコモノ」ではなく、このような日本の奈良町に住まうひとの風景が「よみがえる場」、日本のくらしを「感じられる場」、「伝える場」でありたいと思っています。それは、海外からの来訪する方にとっても、にぎわいの家としてできる一番のおもてなしではないかと思っています。海外の方にとっては、日本人が日常的に当たり前のように考えているもの、例えば床の間、畳、

座布団、かまど、火鉢の役割や自然や神さんに寄せる思いなどもわかりやすく伝えることが求められていると思っております。海外からの来訪者にとって、異なる文化を体験・理解することによって自国との共通性と多様性、普遍性までも感じ、自らのありように「新たな創造力・生きる糧」が得られる場、にぎわいの家がそのような場の一つになっていかなければならないかと思っております。私たちの海外の異なる文化を体験する旅もそんな意味をもっているのではないのでしょうか？

大きな国際文化交流イベントも必要ですが、ごく普通の身近な日本・奈良の人々のくらし(生活の文化)を継続的に海外の方に伝えていく試みをこのにぎわいの家で模索していければと思います。皆様のご支援とご助言を頂ければ幸いです。



お正月の福笑いに、節分の鬼笑い?! が加わりました。鬼はにぎわいの家制作。こわい鬼も来館者の皆さんに、面白い顔にされて、喜んでいるかもしれませんね。



忍者屋敷?!
みたいだなあ。

襖の
引き手
観察中。



冬のお庭はどんな感じ?



炭をつかむ。
こうして暖をとって
いたんだね。



みんな並んでふうふう。

小学生、にぎわいの家を体験!
椿井小学校の皆さんが来館。かまどの火吹き、炭いこしなど体験。町家の空間を興味深く見てくれました!

奈良町にぎわい通信vol.10

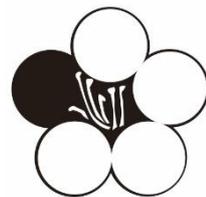
制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

http://naramachi-nigiwainoie.jp/

奈良町にぎわいの家二十四節気マークから



暦では春

二月の節気



雪も雨に

イベント、講座情報は、ホームページ、フェイスブックからご覧になれます。是非、ご参加ください。

2月の行事といえば、節分。にぎわいの家でもヒイラギ鬮(いわし)を門口に挿しました。奈良町近辺ではよく見かける風習。確かに鬮のにおいとヒイラギのトゲには鬼も退散となるのかも。